



相馬市立中村第一中学校だより

# 蛍雪の功

令和6年4月12日発行  
文責 高瀬 永志

## 新入生を迎えて令和6年度がスタート

令和6年度が始まりました。今年度は重点目標「自分のよさを見つけ、ともに伸ばそう」の実現を目指し、子ども達に自信や自己肯定感を持たせながら、充実した1年間となるよう教職員一同力を合わせてまいります。保護者の皆様には、連携とご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、新学年、新学級のスタートから1週間、お子さんの様子はいかがでしょうか。今年こそはというやる気を賞賛したり、不安がないかどうか確認したりなど、この週末はご家族でお話してください。

桜も見頃となり暖かい春の日となった8日に、保護者、ご来賓の皆様のご臨席のもと、**入学式**を挙行了しました。新入生131名が新たな中学校生活をスタートさせました。式では、少し緊張した表情も見られましたが、元気に素晴らしい返事をする事ができ、これからの学校生活への期待と意欲を感じました。校長式辞、武山PTA会長の祝辞のあと、**中里さんが新入生誓いの言葉**を、**生徒会長荒木さんが歓迎の言葉**を、それぞれ立派な態度で述べました。伝統ある中村一中の今年の1年生は、**第80回生**となります。そこで入学式の式辞の中では、本校の象徴である「**蛍と雪**」のお話をしました。



蛍雪の教えとは、夏は蛍を集めてその光で、冬は窓に積もる雪明かりで本を読み、学問に励んだという古い中国のお話が由来となっています。どんな苦難があっても、学問を志し、努力をするという故事として広く言い伝えられています。勉強がしたくても、現代のような自由や余裕がなかった時代の、創意工夫と熱意ある努力が、この蛍と雪の印に込められ、本校の校章に描かれております。さらには、校歌の歌詞に「我が一中の誇り」と、歌い継がれています。皆さんのおじいさん、おばあさんよりも前の時代から、この蛍雪の教えが脈々とDNAのように受け継がれているのです。どんなに厳しい環境でも、勉学に励み、努力する人を世に送り出してきたのが中村一中です。時代の変化はありますが、人生における勉強の大切さに変わりはありません。皆さんも、この蛍と雪の印を心に刻み、どんな時でも努力をする中学生となってください。



入学式の次の日早速、最上級学年の3年生、先輩となった2年生が協力して、**対面式**を実施しました。生徒会役員や、各部活動の部員が、楽しくわかりやすく中学校生活について説明をしてくれました。新入生にとって、堂々と発表したり、演技をしたりする先輩達を見て、感動したことと思います。これからも上級生が模範となり、下級生を導いていく生徒会に、大いに期待しています。

(対面式の様子は**学校ブログ**をご覧ください。下記、**QRコード**よりお入りください。 ↓)

### 来週の予定

- 4月18日(月) 新時間割開始
- 17日(水) 職員会議 ノー部活デー
- 18日(木) 全国学力・学習状況調査(3年)
- 19日(金) 部活動集会
- 20日(土) 【登校日】PTA 総会・学年PTA 例会、お弁当
- 22日(月) 繰替休業日

学校ブログ



